

2020年9月3日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、「独立行政法人都市再生機構」が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施 ～ESG投融資を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島 直樹）は、ESG投融資の一環として、独立行政法人都市再生機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

今般、当社が投資する本債券の調達資金は、同機構が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

<本債券の発行概要>

発行体：独立行政法人都市再生機構（R&I格付：AA+、ムーディーズ格付：A1）

名称：ソーシャルボンド

※ 国際資本市場協会（ICMA）が公表する「ソーシャルボンド原則」に準拠した
ソーシャルボンド

発行総額：400億円

償還期間：20年、30年、40年

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」（※）に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以 上

（※）責任投資原則（PRI=Principles for Responsible Investment）とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。